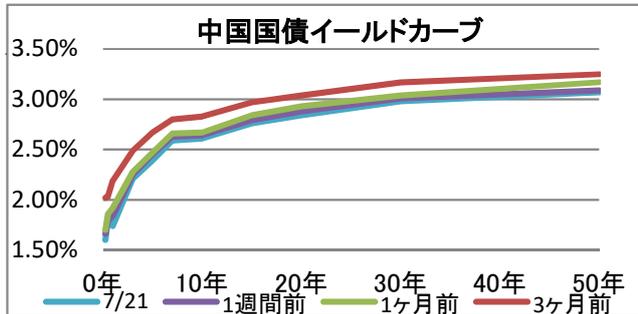
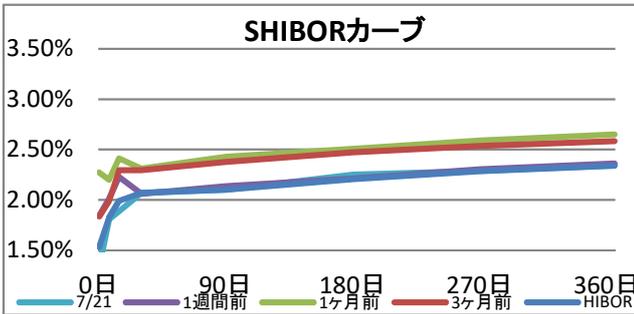


基準レート		2023/7/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1456	+0.0138
	JPY/CNY	5.1399	-0.0401
SHIBOR	3M	2.1000%	-0.0010%
国債利回り	10年	2.61%	-0.03%
上海総合指数		3,167.75	-69.96



(1) 概況

国際金融市場では、FRBの利上げサイクル終了間近との楽観が新規失業保険申請者数の減少によりやや後退し、債券利回りが下げ渋る一方、株式市場は堅調な銀行決算等により続伸となり、為替市場では、ドルの買戻しが入る展開。

中国金融市場では、GDP等の経済指標が市場予想を下回り、先行きの景気に対する懸念が強まる中、政府の景気支援具体策公表の遅れ等から、株価はじり安の展開で3200の大台を割り込み、債券利回りも低下。為替市場でも、景気の先行き懸念等から過半ばまで元安が進行したが、人民銀行が外貨建て資金調達の上限を調整するマクロブロードス調整計数の引上げを実施したほか、当局高官の発言や国有銀行のドル売りの動き等から、ドルの上値が抑えられた格好となった。

習主席は、キッシンジャー元米国務長官との会談で「米国との良好な関係を保ち、両国関係の着実な発展を推進するための正しい道を米国側と探っていきたい」と強調。中国政府は、民間企業の支援強化方針を打ち出し、国家発展改革委員会は、足許の経済状況を踏まえて政策ツールを改善し早期に発動する旨を示唆し、商務部等は、家電買い替え支援等を含む家計消費促進に関する措置の通知を公表し、工業情報化部は、自動車、鉄鋼等10大重点業種の安定成長計画を策定する方針を示した。易綱人民銀行行長はデジタル人民元を使った取引が本年6月時点で昨年8月対比約18倍に急増したと言及し、潘功勝人民銀行党委書記は、HKMA総裁と香港銀行界代表団との会談で香港国際金融センターの地位向上への支援と両地域の金融交流強化等につき意見交換を実施。人民銀行は、企業や金融機関の外貨建て資金調達の上限を調節する「マクロブロードス政策因数」の引上げを、最優遇貸出金利の据え置きをそれぞれ決定。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日310億元、MLF期日1000億元に対して、リバースオペ1120億元、MLF1030億元を実施し、ネットで840億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・GDP (4-6月) は、前年同期比+6.3%と、上海ロックダウンの影響が出た昨年同期の反動から、1-3月(同+4.5%)より伸びを高めたが、市場予想を下回ったほか、前期比も+0.8%と1-3月(同+2.2%)から鈍化。
- ・鉱工業生産 (6月) は前年比+4.4% (5月、同+3.5%) と前月から伸びを高めた。新工ネ車や太陽光蓄電池等は高い伸びとなったが、パソコンやスマホ等が引続き低調なほか、不動産建設の低迷を背景にセメント等の前年割れが続いた。
- ・小売売上高 (6月) は前年比+3.1% (5月、同+12.7%) と、前月から伸びを鈍化。前年 (5月、同-6.7%→6月、同+3.1%) が上海ロックダウン解除等の影響から回復基調にあった点を割り引く必要があるが、先月まで好調であった飲食関係や自動車が伸びを鈍化させたほか、不動産販売の減少等を反映し、家具や建築材料類の低迷が続いた。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.5310%	1.5310%	1.5500%	
1W	1.8260%	1.8500%	1.9500%	
2W	1.9910%	1.9910%	2.3000%	1.6000%
1M	2.0680%	2.1000%	3.8000%	1.9000%
3M	2.1000%	2.3500%	2.1500%	2.0500%
6M	2.2050%	3.0000%		2.1800%
9M	2.2860%		2.8500%	2.2500%
12M	2.3390%	3.8400%		2.3000%

人民銀行によるMLFの増額も限定的で、LPRの利下げもなかったものの、金融緩和期待から金利水準は低位で安定している。ターム物の出合いは、1ヶ月の2.2%前後での取引が中心となっている。

NCDの金利水準も安定しており、ターム物は、1ヶ月が1.90%前後、3ヶ月が2.05%前後、6ヶ月が2.1%台後半、1年が2.3%前後で取引されている。

(2) ミドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.14%	5.16%
1W	5.25%	5.35%
1M	5.55%	5.60%
3M	5.70%	5.80%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.80%	5.90%

中国国内市場のビッド仕かりの状況に変化はないものの、ターム物は、1ヶ月が5.5%台、3ヶ月が5.7%前後で取引引きされている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.60%		2.06%	2.17%	2.33%
6M	1.81%		2.18%	2.23%	2.39%
1Y	1.74%	2.01%	2.31%	2.37%	2.58%
3Y	2.21%	2.36%	2.61%	2.66%	3.28%
5Y	2.39%	2.53%	2.74%	2.99%	3.68%
10Y	2.61%	2.83%	2.99%	3.25%	4.04%

米国債券市場では、利上げサイクル終了間近との見方や英インフレ率の低下から、週半ばまで利回り低下が続いていたものの、新規失業保険申請者数の減少を受けて前週末水準に戻している。中国債券市場では、利回りの低下余地が限定的とみられる中で景気後退懸念と金融緩和を含む政府の景気刺激策への期待が交錯して様子見となったが、利回りは小幅に低下している。この結果、米国の10年国債利回りは3.83%（前週比±0 bp）で変わらずとなる一方、10年中国国債利回りは2.61%（同、-3bp）に低下したことから、利回り差は+122bp（同+3bp）に小幅ながら拡大に転じている。

中国債券のイールドカーブは、利率債の短期から中期を中心に全体的に下方にシフトしており、スティーピングに転じている。クレジットスプレッドも、先週までの信用債利回りの低下による縮小から、利率債の大幅な低下による拡大に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-227.0 / -224.0
3M	-690.0 / -685.0
6M	-1362.0 / -1357.0
9M	-1965.0 / -1955.0
12M	-2470.0 / -2460.0

対ドル基準レートは7.1456と前週末比+138pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1399と同-401pipsの円安元高と、元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、前週の流れを受けて元高水準で始まったものの、ドル買い圧力から7.2台のドル高に転じており、週後半の人民銀行のマクロブレード調整係数の引き上げや国有銀行のドル売りにより7.18水準に戻して週末を迎えている。

先物は、金利差見通しに変化もなく、直物市場では米ドル買い需要から下値が堅いレンジ取引となったことから、スワップのマイナス幅の変動も限定的で、1年物は-2400台での取引が続いた。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.95%		1.59%
6M	1.99%	2.12%	1.57%
9M	2.00%	2.15%	1.61%
1Y	2.01%	2.19%	1.62%
3Y	2.23%	2.45%	2.00%
5Y	2.44%	2.72%	
7Y	2.57%	2.88%	
10Y	2.70%	2.98%	

スワップ金利は、債券利回りの低下により小幅に低下している。債券利回りとの差であるスワップスプレッドは小幅な拡大が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。